

本書の特色

この本は、中学2年の冬休み前までの学習内容を中心につくられたテキストです。基本的な力をつける問題が中心になっていますから、今まで学んだことの基礎を身につけるために効果的です。

読解の単元は、最初の2ページで文章中にどんなことが書かれていたかをおさえたあとに、次の2ページで、同じ文章を扱った演習問題に取り組むという構成になっています。同じ文章を二度読むことで、内容を正確に読み取る力をつけましょう。

本書の使い方

- 学習のポイント……各課で習得すべき学習内容が示されています。
 - 文章の流れをつかもう……文章のあらすじをおおまかにつかむコーナーです。
 - 内容をとらえ直そう……文章の内容を整理し直すコーナーです。
 - 演習問題……前の2ページと同じ文章を扱っています。「文章の流れをつかもう」「内容をとらえ直そう」で確認した内容を思い出しながら解きましょう。
 - 漢字のトレーニング……重要漢字の読み書きを確認しましょう。
 - 総合問題……この本の総まとめの問題になっています。
- ※読解以外の単元……「整理しよう」「例題」を通して重要事項をおさえ、「演習問題」でさらに理解力を深めましょう。

もくじ

〈中2国語〉

1	説明的文章	2
2	古典	6
3	文学的文章	10
4	韻文・情報	14
文法		18
総合問題①		20
総合問題②		22

4 韻文・情報

学習のポイント

- ・短歌の表現形式を知る。
- ・表現技法とその効果について知る。
- ・話し合いと資料から情報を読み取り、適切に表現する。

整理しよう

1 短歌

- ①構成……五七五七七（初句、二句、三句、四句、結句）の三十一文字。
字余り……基本の音数より多いこと。
字足らず……基本の音数より少ないこと。

- ②句切れ……意味や調子の切れめを示す。

例 初句切れ（五／七五七七） 二句切れ（五七／五七七）
三句切れ（五七五／七七） 四句切れ（五七五七／七）
句切れなし

- ③枕詞……特定の語を導き出し、調子を整える。

例 たちねの↓母 ひさかたの↓光

2 表現技法

- ①比喩 直喩……「ようだ」を用いてたとえる。
隠喩……「ようだ」を用いずにたとえる。
擬人法……人でないものを人にたとえる。
②体言止め……終わりに名詞（体言）をおいて、余韻を残す。
③反復……同じ語句をくり返して強調する。
④倒置……言葉の順序を入れかえて強調する。
⑤対句……対になる言葉や連を並べ、リズムを持たせる。

3 話し合いの進め方

- ①テーマを決め、情報を集める

△発想・整理の方法の例▽

樹形図……大きな題材を、下位項目に分けていく。

座標軸法……対をなす観点を、縦と横の座標軸に据え、座標上のどの位置にどのような材料が来るかを考える。

- ②役割を決めて、考えをまとめる

△役割の例▽

司会……中立的な立場で、提案や発言の内容を整理する。

提案者……理由や根拠を明確にして提案する。

発言者……提案者の意見をよく聞き、質問したり、意見を述べたりする。

- ③グループで討論する

- ④討論を振り返る

例題

1 ある中学校の保健委員会では、「校内の掃除」について全校生徒にアンケートを取りました。次は、その結果をもとに各クラスの保健委員が標語を決めるための話し合いをしている様子の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの様子の一部】

アヤカ この時間は、アンケートで出た意見について話し合い、校内の掃除について全校生徒に呼びかける標語を考えます。アンケートでは、主に次の六つの意見が出ました。黒板を見てください。

アンケートで出た主な意見

- ① 掃除用具が足りない
- ② ゴミ箱を増やしてほしい
- ③ まじめに取り組んでいない
- ④ 掃除場所の広さに対して班員が少ない
- ⑤ 取りかかりが遅い
- ⑥ 掃除時間に音楽をかけてほしい

ハルト 全校生徒の掃除への意識が変わるような呼びかけがよいと思います。ソウマ 私もそう思います。アンケートで出た I という二つの意見から、掃除に対して意識の低い人がいるのが気になります。だから、全校で十五分間の掃除にしっかりと取り組むような呼びかけにしたいです。

アヤカ 確かに、そうですね。他の意見はありますか。

メイ 意見にもとづいて、掃除時間に音楽をかけませんか。

ハルト それなら校歌がよいと思います。

ソウマ 校歌より、みんなが好きな音楽をかけた方がやる気が出ると思います。

メイ だったら、かけてほしい音楽のアンケートを取りましょうよ。

アヤカ

ソウマ そうでしたね。話を戻しましょう。

II

□(1) 【話し合いの様子の一部】の中のソウマさんの発言の I にあてはまるものとして適当なものを、「アンケートで出た意見」の①～⑥の中から

二つ選びなさい。

□(2) 司会であるアヤカさんの発言として【話し合いの様子の一部】の II に入れるのにふさわしい言葉を、二十五字以上、三十五字以内で書きなさい。

2 次の短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。

ア 昼ながら幽かに光る螢一つ 孟宗の藪を出でて消えたり
イ 白鳥はかなしからずや空の青海のあをにも染まずただよふ
ウ 垂乳根の母がつりたる青蚊帳をすがしと寝ねつたるみたれども
北原白秋 若山牧水 長塚 節

□(1) 次の①～④にあてはまる短歌を、ア～ウからそれぞれ選びなさい。

- ① 二句切れである。
- ② 倒置法が用いられている。
- ③ 枕詞が用いられている。
- ④ 字あまりである。

① ② ③ ④

□(2) 次の鑑賞文にあてはまる短歌を、ア～ウから選びなさい。
目の前の小さな命の輝きをとらえ、そのはかなさを象徴的に描き出している。

演習問題

1 次の短歌と鑑賞文を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(馬場あき子『馬場あき子 短歌その形と心』より)

- (1) A～Cの短歌の句切れを、それぞれ書きなさい。

A

B

C

- (2) Bの短歌に用いられている表現技法を、ア～エから選びなさい。

ア 倒置法 イ 比喩 ウ 体言止め エ 枕詞まくらことば

- (3) 鑑賞文の にあてはまる句を、短歌Cから書きぬきなさい。

- (4)

——線「歌とはそういう恐ろしいものです」とありますが、筆者がこう考える理由として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 短歌は、三十一音という短い表現の中に、さまざまな感情を複雑にこめているものだから。

イ 短歌は、音数が限られているために、作者の思いとは違って受け取られる危険があるものだから。

ウ 短歌は、人の別れを、精神的にも距離的にも何倍も深く人生的なものにしてしまうものだから。

エ 短歌は、ただ一つの句によって、その世界を深くしたり名歌としての命を失ったりするものだから。

- 2 次の【話し合い】は、中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんがグループで参加するボランティア活動について協議をしている場面です。【話し合い】と【チラシ】をふまえて、あとの問いに答えなさい。

【話し合い】

A 現在募集中のボランティア活動の【チラシ】から、参加する活動を決めよう。今日Dさんはいないけれど、結論は私たちに任せると言っていたよ。

B 平日は学校があるし、放課後は部活動もあるから、活動に参加できない日もありそうだね。特に技能も資格も持っていないけれど、何がやれるかな。

A 図を使って考えてみてはどうか。縦軸は私たちの「興味・関心の度合い」を、横軸は「参加しやすさ」を表していて、縦軸は上にいくほど興味・関心の度合いが高く、横軸は右へいくほど参加しやすいことになる図だよ。

C 興味・関心と言え、人との触れ合いができるものがないと話していたね。A そうだね。「興味・関心の度合い」はその視点で考えよう。

B では、さっそく①から順に考えていこう。私たちの町は観光地で、外国人旅行者も多いからいろいろな人と触れ合えそうだね。

A うん。でも英会話ができないとな…。③はどう。犬の散歩、楽しそう。

[illegible]